

様式（第6条関係）

会 議 録

会 議 名	第22期小金井市公民館企画実行委員の会議 第15回		
事 務 局	小金井市公民館 緑分館		
開 催 日 時	平成25年10月1日（火）午前10時～正午		
開 催 場 所	小金井市公民館 緑分館 集会室		
出 席 委 員	金田委員、定塚委員、服部委員、森実委員、 山本委員、吉田委員		
欠 席 委 員			
事 務 局 員	若藤主査、藤原主事、野津（非常勤）		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	0 人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 報告事項</p> <p>（1）第32期小金井市公民館運営審議会委員委嘱状伝達式及び第1回審議会について</p> <p>（2）国際交流イベントについて</p> <p>2 審議事項</p> <p>（1）成人学校について</p> <p>3 その他</p> <p>（1）来年度の予算について</p> <p>（2）その他</p>		

発言内容・
発言者名
(主な発言
要旨等)

司会 吉田委員

1 報告事項

(1) 第32期小金井市公民館運営審議会委員委嘱状伝達式及び第1回審議会について

[若藤] 9月13日に行われました。詳細は別紙のとおりです。

(2) 国際交流イベントについて

[野津] コロンビアの講師と打ち合わせをしまして、別紙のとおり実施することになりました。担当は定塚委員と森実委員でしたが、森実委員が木曜日都合悪いので、吉田委員にお願いしたいと思います。

2 審議事項

(1) 成人学校について

[野津] 前回の会議で意見がでた耳が遠くなった方とのコミュニケーションに関する講座ですが、インターネットで「シニアサイン」というのを見つけました。シニアサインは手話より簡単で、身振り手振りを使って耳の遠い方とコミュニケーションをする方法です。愛知県で活動しているようですが、東京にも講師がいらっしゃるそうで、今お願いしているところです。

[吉田] 補聴器の使い方が新聞に出ていました。耳の聞こえない方が多いようですね。

[野津] 東京の講師がお引き受けしてくださるようなら、シニアサインの講座をやりたいと思います。それから、前回講談という意見もできました。それとは別に、学芸大学の先生が江戸東京博物館の館長をよくご存じで、もし講座等で行くのなら紹介すると言ってくれました。歴史関係の講談を緑分館で聞いて、江戸東京博物館に行くという講座もできそうな感じです。

[森実] 江戸東京博物館は半年前には展示の内容がわかっているので、それに即した講談をお願いしたらいいと思います。それと、上野の都立美術館は65歳以上の方でしたら安く入場できます。

[山本] 両国には国技館があります。相撲部屋も見学できます。知り合いがいるので聞いてみます。

[吉田] 「よしば」という有名なちゃんこ料理のお店があります。

[野津] 今出た意見の中から講座を組み立ててみます。山本さん、よろしくをお願いします。

[若藤] 成人学校はまだ6枠決まっていません。一気に決められるといいですね。

3 その他

(1) 来年度の予算について

[若藤] 来年度の予算編成にむけて、昨日係長会議がありました。事業に関しては、公民館全体の予算は変わらないので館ごとでの調整になります。本館で子供体験教室を年4回やっていますが、緑分館でも少年に対する事業をやりたいと思い、1回分の予算を要求しました。

[吉田] 少年というのは何歳くらいですか。

[若藤] 小・中学生です。長くやってきた講座に関しては見直しができ

ればいいと思います。施設の修繕に関しては外階段の補修に関して要求しました。

〔野津〕学習室の仕切り板がすぐこわれてしまいます。重くて仕切るのも大変です。

〔山本〕先週も壊れて、危ないので使用禁止にしました。

〔森実〕予算に予備枠はないのですか。例えば修理で対応するとか。

〔若藤〕緊急修繕の予算はありますが、大きな修理はできません。

〔吉田〕ホワイトボードを購入したのはよかったです。

〔森実〕学習室の黒板も、最近は印刷機能付きも安く売っていますので考えていただきたい。

〔吉田〕椅子も相当ボロボロですね。レクリエーション室の椅子も出し入れが大変です。

〔若藤〕学習室の椅子は今年度中に25脚だけ入る予定です。レクリエーション室は椅子掲載用台車が2台入ります。

〔吉田〕緑分館は施設が大きいので、他の館より多めに予算をつけてもらえるように、強く要求してください。予算はいつまでですか？

〔若藤〕10月末までに見積書を提出しヒアリング等を経て1月に内示の予定です。

(2) その他

〔藤原〕陶芸入門教室に関してですが、長年同じ形態で実施していますので、一度見直しが必要かと思います。入門教室とサークルの区分け、講師、回数、日程、開催時期、募集人数について過去6年分を別紙にまとめましたのでご覧ください。今現在、陶芸のサークルに入会するには陶芸入門教室を受講しないといけないというしほりがあります。データによると受講生がサークルを希望しても、全員が入れるというわけではないみたいです。陶芸入門教室も抽選で、サークルに入会するのも全員は無理だとすると、陶芸をやりたいと思っている方にとって、非常にハードルが高いです。

〔定塚〕陶芸入門教室に参加された方の7割がサークル入会希望します。4つのサークルはサークルによって受け入れられる人数が違いますが、全体数は受け入れ態勢が整っています。回数も時間も長いのですが、サークルに入会した場合、必ず焼成等をやらなくてはなりません。そのため入門教室では焼成を体験してもらっています。また、最初に作った作品と、最後に作った作品を比べると明らかに上達しています。是非それを味わってほしいと思います。先生や曜日に関しては変更しても構わないと思います。

〔藤原〕回数が長いために参加をためらう方もいらっしゃると思います。回数を減らしてもっと多くの方に気軽に参加していただけるような講座にすることも含め、今後も検討していきたいと思います。1月に陶芸サークルとの陶芸連絡会があります。その時に公民館側として意見を述べたいと思います。